

地球環境と世界市民

EARTH ENVIRONMENT AND GLOBAL CITIZEN

環境教育研修旅行「タイにおけるエコツアー」の報告

2005年3月10日(木)～20日(日)にタイにおける環境教育研修旅行が行なわれ、甲南大学から谷口先生、臼井先生、大久保先生、玉利先生、12名の学生・研究生が参加しました。そしてこの研修旅行をコーディネートしていただいたのは、タイのプラナコーン・ラジャバト大学環境教育センター所長のSiriwat先生、Chinatat先生でした。その他に、プラナコーン大学の他の先生方や学生たち、プラナコーン大学に教えに来られていたオーストラリアのJoan Webb先生が参加され、内容の充実した旅行となりました。

初日の10日はバンコクに到着したのが夕方だったため移動日となり、プラナコーン大学内にあるホテルに宿泊しました。11日の午前中は、バンコクの観光地としても有名なThe Grand Palaceに行き、寺院やエメラルドブッタを見学し、タイの伝統文化に触れました。午後からは、プラナコーン大学に戻り、甲南大学とプラナコーン大学をテレビ会議システムでつなぐための準備を行ないました。その後、タイの先生方がウェルカムパーティーを開いてくれました。そして、12日はプラナコーン大学大学院の講義に参加し、Joan Webb先生の講義と国際協会会長であるの谷口先生の講義を受けました。そして、夕方からは世界文化遺産であるアユタヤ遺跡に行き、ナイトクルージングを行ないました。

13日はタイ北西部にあるチェンマイに行き、彫り物や織物などのその地域の伝統文化を見学しました。その後、Doi Inthanon 国立公園へ行き、14日、15日と公園内にて2泊3日のエコツアーを行ないました。14日は、ネイチャー・トレイルのトレッキングと、タイの王様のプロジェクトが行なわれているInthanon Royal Research Stationを訪問しました。15日は象保護センターや家内工業の模範である傘工場の見学を行ないました。そして、16



講義「心の環境 箱庭の世界」
谷口先生



Doi Angka Nature Trail



TV会議：プラナコーン側

日の朝バンコクに戻り、谷口先生、臼井先生、Siriwat 先生、Chinatat 先生の合同講義「国際交流と国際理解」、「調査方法とその確認」を受けました。

17日は、水上生活が行なわれ、陶器作りの伝統工芸が保存されている島「KOH KRED」を訪れました。午後からは、甲南大学とプラナコーン大学を結ぶテレビ会議の試験が行なわれ、甲南大学3地点、プラナコーン大学1地点の4地点を同時にネットシステムで結ぶことに成功しました。

18日は、タイの中南部にあるPRAN BURIに向けて出発し、パームファクトリーや塩田を見学した後、Pran Buri Forestのコテージに宿泊しました。そして翌日の早朝にバードウォッチングを行ない、その後マングローブ林をクルージングしながら見学しました。そしてバンコクに戻った後、フェアウェル・パーティーを開いてもらい、深夜23:59の飛行機に乗って日本に帰りました。

[環境教育研修旅行 旅程]

- | | | |
|----------|-------|---|
| 3/10 (木) | 11:30 | 関西国際空港出発 |
| | 18:00 | バンコク到着 |
| 3/11 (金) | 9:00 | The Grand Palace 見学 |
| | 13:45 | テレビ会議準備 |
| | 18:15 | ウェルカムパーティー |
| 3/12 (土) | 9:00 | プラナコーン大学大学院講義：Joan Webb 先生の講義 |
| | 15:00 | プラナコーン大学大学院講義：谷口文章先生の講義 |
| | 19:00 | ナイトクルージング |
| 3/13 (日) | 9:15 | チェンマイ国際空港到着 |
| | 10:10 | 彫り物市場「Ban Tawai」の見学 (HANG DONG) |
| | 11:00 | 土産市場の見学 (HANG DONG) |
| | 14:15 | 織物工場「Pa Da Foundation」見学 (CHOM THONG) |
| | 15:20 | 「Wat Pharthat Sri」寺の見学 (CHOM THONG) |
| | 16:50 | Doi Inthanon 国立公園到着・宿泊 |
| 3/14 (月) | 8:30 | ネイチャートレイル「Doi Angka Nature Trail」 |
| | 11:20 | ネイチャートレイル「Guin Mae Pan Nature Trail」 |
| | 14:10 | Inthanon Royal Reseach Station見学 |
| | 17:25 | ニジマス養殖場見学 |
| 3/15 (火) | 10:20 | 像保護センター見学 (LAN PANG) |
| | 14:20 | 傘工場「Doishuank」見学 (SAN KAMPHAENG) |
| | 20:20 | ナイトバザール |
| 3/16 (水) | 11:20 | バンコク Dong Muang Airport 到着 |
| | 16:15 | 講義「国際交流と国際理解」
(谷口先生、臼井先生、Siriwat 先生、Chinatat 先生) |
| | 18:00 | 講義「調査方法とその確認」
(谷口先生、臼井先生、Siriwat 先生、Chinatat 先生) |
| 3/17 (木) | 8:10 | KOH KRED 見学 (NONTHA BURI) |
| | 13:20 | テレビ会議 |

3/18 (金)	11:15	パームファクトリー見学(PHAT BURI)
	14:15	塩田見学
	17:30	Pran Buri Forest コテージ到着 (PRAN BURI)
3/19 (土)	6:30	バードウォッチング
	9:05	マングローブ林見学・クルージング
	18:55	フェアウェルパーティー
	23:59	バンコク Dong Muang Airport 出発
3/20 (日)	6:50	関西国際空港到着

報告

APN 第 10 回政府間会合開催記念国際シンポジウム 「地球変動研究と環境教育 APN に期待される役割」

APN(アジア太平洋地球変動研究ネットワーク)の第10回政府間会合の開催を記念し、公開シンポジウムが2005年4月11日(月)に神戸国際会議場で開催されました。APNの活動が10年目を迎える節目にあたり、APNがこれまで蓄積してきた地球変動研究の成果を一般に公開し、21世紀の地球環境問題の解決のため、積極的に活用することを目指して開催されました。これからの地球の環境問題に対応するためには、自らが主体的に環境問題について考え、取り組むための「環境教育」の重要性が叫ばれていることから、APNが重点的に取り組んでいる人材養成との関連性について議論が深められ、今後の地球環境問題への対応に参考となる研究や人材養成の取り組みに関する情報収集のよい機会となりました。

開催日時：2005年4月11日(月) 13:30-16:30

開催場所：神戸国際会議場 国際会議室 301号室(3階)

テーマ：地球変動研究と環境教育 APNに期待される役割 日英同時通訳付き

主催：APN(アジア太平洋地球変動研究ネットワーク) 兵庫県

後援：環境省、財団法人ひょうご環境創造協会、日本環境教育学会

[プログラム]

基調講演(1)：「開発途上国における環境教育の課題」

アミール・ムハメド (パキスタン国立コンピューター・未来科学大学学長)

基調講演(2)：「地球環境の課題をふまえた今後の環境教育」

谷口文章 (甲南大学教授、日本環境教育学会事務局長、地球環境と世界市民」国際協会会長)

基調講演(3)：「APNの活動状況」

山村尊房 (APN センター長)

パネルディスカッション：「21世紀の地球環境問題に対応した人材養成と環境教育 - APNへの期待 - 」

コーディネーター：谷口文章

パネリスト：アミール・ムハメド

スプラマニラム・モータン (マレーシア、APN 科学企画グループ委員)

大久保規子 (大阪大学大学院法学研究科教授)

中瀬勲 (兵庫県立陣と自然の博物館副館長、兵庫県立大学教授)

[基調講演 (2)]

地球環境の課題をふまえた今後の環境教育
Environmental Education to cope with Global Environmental Issues:
its vision and expected actions in Japan

谷口 文章

1. はじめに
2. 日本の環境教育に関する法律等
 - (1) 「環境保全活動・環境教育推進法」の概要 (2003 年)
 - (2) 兵庫県の環境政策 環境教育等の目的と基本的方針等
3. 日本の環境問題と環境教育の実践
 - (1) 公害問題 水俣病、奇形ザル
 - (2) 環境教育の実践 フィールドワーク (VTR)
4. カナダの環境問題と環境教育の実践
 - (1) オルターナティブ・エコフォレストリー
 - (2) ヴィクトリア大学との共同講義 フィールド・コース (VTR)
5. アジアの環境問題と環境教育の実践
 - (1) 中国：大気汚染
 - (2) タイ：水質汚染、マングローブ林伐採
 - (3) プラナコン大学との共同講義 フィールドワーク (VTR)
6. 環境創造 今後の環境教育
 - (1) 環境創造のために：国立・国営公園の調査
 - (2) 「あいな里山公園」：環境教育の導入
7. 地球環境の課題をふまえた今後の環境教育 APN への期待



シンポジスト



会場の様子

[2005 年 4 月 12 日 火曜日 神戸新聞より]

アジア太平洋地球変動研 設立 10 年シンポ
環境教育の重要性強調

地球環境についての共同研究を進める政府間組織「アジア太平洋地球変動研究ネットワーク (APN) の設立十周年を記念するシンポジウムが十一日、神戸市中央区の神戸国際会議場で開かれた。環境教育をテーマに専門家が活発に意見を交わし、市民ら約百五十人が理解を深めた。

APN は一九九六年、地球温暖化問題の研究や、途上国の専門家育成を目的に設立。当初、環境省にあった事務局を、兵庫県が九九年に神戸・東部新都心に誘致した。現在、二十一カ国が参加している。

講演した谷口文章・甲南大教授は「自然、社会環境の悪化は“心の環境汚染”が原因」と強調。その上で「環境教育がイベント・単発型になっている」と課題を指摘し、子どもたちが主体的に環境問題にかかわれるよう、継続的に取り組む必要があると訴えた。

シンポジウムには小池百合子環境大臣も出席。効果的な環境教育の推進に向け、「教師とAPNの専門家が共同研究をする仕組みを作ってみては」などと提案した。

十二 - 十四日には、同会議場でAPNの加盟国代表らが会合を開き、今後の事業計画などを協議する。(田中陽一)

エコクッキング・レシピ

捨てずに利用しよう「漬け物」

<材料>

- ・大根 1/3本(皮と葉も使用)
- ・キュウリ 2本
- ・しょうゆ 大さじ1
- ・酢 大さじ1
- ・ごま油 小さじ1
- ・塩 適量
- ・一味唐辛子 適量



<作り方>

1. 大根とキュウリを短冊切りにする。皮と葉のも食べやすい大きさに切る。
2. 1で切ったものをビニール袋に入れ、塩を加え揉む。
3. しばらく重しをする。
4. 漬け物の汁を他の容器に入れ、他の料理に使用する。(次の「ヘルシー炒め物」に使用。)
5. 調味料を袋に入れ、冷蔵庫にしばらく置いてできあがり。

エコポイント

- ・材料の捨てる部分を活用する。
- ・本来の味を保ちつつ、長期保存可能。
- ・手軽に作れる。(時間削減)
- ・汁や調味料を他の料理に使用できるので無駄が少ない。

ヘルシー炒め物(4人分)

<材料>

- ・しめじ 1パック
- ・アスパラ 3本
- ・鶏ミンチ
- ・漬け物でできた汁
- ・味噌 適量

・コショウ 適量

<作り方>

1. アスパラを斜めに切る。
2. アスパラとしめじを漬け物の汁で溶いた味噌で炒める。
3. 火が通ってきたら鶏ミンチを入れて炒める。
4. 最後にコショウで味付けしたらできあがり。

エコポイント

- ・火が通りやすく、ガス代と調味時間を節約できる。
- ・漬け物の余った汁で炒めるので、油を使用せずヘルシー。
- ・調味料を作る手間が省ける。
- ・冷蔵庫に保存して、どんぶりやスープに使用することもできる。

スカンポのつくだ煮風（4人分）

<材料>

- ・スカンポ 適量
- ・しょうゆ 適量
- ・さとう 適量
- ・みりん 適量
- ・七味唐辛子 適量



<作り方>

1. スカンポの皮をむき、一口大に切る。
2. 沸騰した湯に塩を入れ、さっと茹でる。
3. ザルにあげ、水気を切る。
4. しょうゆ、さとう、みりん、七味唐辛子を合わせ、煮るとできあがり。

エコポイント

- ・旬の野草を摘んできて料理することで材料費がかからず、おいしい料理が食べれる。

ポテトサラダ（4人分）

<材料>

- ・ジャガイモ 3～4個
- ・キュウリ 1/2本
- ・ニンジン 皮の部分
- ・マヨネーズ 適量
- ・塩コショウ 適量

<作り方>

1. ジャガイモの皮ごと火が通りやすい大きさに切る。
2. キュウリは輪切りにし、ニンジンの皮は細かく切る。
3. ジャガイモとニンジンを茹で、ザルにあげ、水気を切ってボウルに移し、熱いうちにジャガイモをつぶす。
4. 3にキュウリを加えて、塩コショウ、マヨネーズで味付けをする。

エコポイント

- ・普段は捨ててしまうジャガイモとニンジンの皮を使用する。

ネットワーク掲示板

日本環境教育学会第16回大会(京都)のご案内
テーマ:「環境を未来につなげる意欲を育む環境教育」

日時:2005年5月21日(土)・22日(日)

場所:京都教育大学(京都市伏見区深草藤森町1)

・JR奈良線「藤森駅」下車、徒歩3分 ・京阪本線「墨染駅」下車、徒歩10分

参加費: 一般 5,000円 学生 3,000円

懇親会費: 一般 5,000円 学生 4,000円

詳細は日本環境教育学会ホームページ(<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsoc/>)をご覧ください。
頂くか、下記事務局までお問合せ下さい。

問合せ先:日本環境教育学会第16回大会実行委員会事務局

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1 京都教育大学内

実行委員長 水山光春 TEL:075-644-8220 FAX:075-645-1734

事務局長 土屋英雄 TEL:075-644-8329 FAX:075-645-1734

[21日(土)]

9:30-12:30 口頭発表 発表1件:12分

13:30-17:20 基調講演:「次の生き方」 森孝之氏

特別講演:「桜のころ、人のころ」 佐野藤右衛門氏

ミニコンサート:環境音楽「水の調べ」 長谷川有機子氏

17:30-18:20 総会

18:30-20:30 懇親会

[22日(日)]

9:00-15:00 口頭発表、ポスター発表

15:00-17:00 関連小集会

[講演者紹介]

森孝之氏...京都工芸繊維大学卒。(株)ワールド取締役等を経て、2000年大垣女子短期大学学長。03年同名誉教授。現在、(株)アイトワ)所属。

佐野藤右衛門氏...嵯峨野、広沢池の近くの造園業・植藤の16代目。京都祇園・円山公園の枝垂桜等、全国各地の桜の健康を守る「桜守」として有名。

長谷川有機子氏...京都教育大学教育学部音楽科卒。現在、音楽スタジオ「スタジオ・マイ・ペース」代表。日本サウンドスケープ協会理事等。

[イベントのご紹介]

5月20日(金)に、京(みやこ)エコロジーセンター他でイベントを行ないます。イベントの中から京(みやこ)エコロジーセンターにおけるイベントのご紹介です。多数のご来場をお待ちしています。

京エコロジーセンターにおけるイベント

- (1)国内外の環境学習・情報の拠点施設のスタッフや施設事業に関心のある人々による日頃の活動内容についての情報交換とネットワークづくり。
- (2)センター内の展示を活用した学習プログラム体験。

日本保健医療行動科学会 認定健康行動科学士資格研修会のご案内

日時：2005年6月4日(土)・5日(日)

場所：甲南大学10号館10-12教室

[1日目：6月4日(土)]

- 9:00-9:20 受付・開会の辞
- 9:20-10:50 医療人類学入門(村岡潔・佛教大学)
- 11:00-12:30 脳と心の生理学(吉岡隆之・神戸市看護大学)
- 12:30-13:40 昼食
- 13:40-15:10 医療倫理学入門(谷莊吉・はやしまクリニック)
- 15:20-18:30 箱庭療法(谷口文章)

[2日目：6月5日(日)]

- 9:00-9:20 事務連絡
- 9:20-12:30 わかる質的研究法(榎田美雄・徳島大学)
- 12:30-13:40 昼食
- 13:40-15:10 総合医療(竹林直紀・関西医科大学)
- 15:20-16:50 ストレスマネジメント論(中川晶・大阪産業大学)
- 17:00-18:30 試験

詳細は日本保健医療行動科学会のホームページ(<http://homepage1.nifty.com/jahbs/>)をご覧ください。又は下記事務局までご連絡下さい。

問合せ先：認定健康行動科学士資格研修会事務局(近畿地区)

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1

甲南大学文学部人間科学科 谷口研究室気付

Tel/Fax：078-435-2368 E-mail：fumiaki@konan-u.ac.jp

事務局だより

1. 本協会年報の論文投稿を受け付けております。区分は(1)研究論文(原著論文/総説)(2)資料、(3)報告です。年報巻末に添付しております投稿規程にしたがって御応募下さい。
2. 本協会では、環境教育に関する国際ネットワーク化の促進ならびに国際的ガイドラインの構築を推進しております。国際的な情報を御提供下さいますようお願い致します。

『地球環境と世界市民』国際協会ニュースレター No.17

事務局：「地球環境と世界市民」国際協会

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1

甲南大学文学部人間科学科 谷口研究室内

Tel/Fax:078-435-2368 E-mail:fumiaki@konan-u.ac.jp

Homepage:http://www.nk.rim.or.jp/~fumiaki/iaeg/iaeg_j.html